

クラチャイダム粉末



Botanical name

Kaempferia parviflora Wall. ex Baker

Family

Zingiberaceae

Scientific synonyms

Boesenbergia pendurata (Roxb.) Holtt

分析試験項目	結果
水分	1.7g/100g
たんぱく質	8.8g/100g
脂質	5.6g/100g
灰分	8.5g/100g
糖質	75.4g/100g
エネルギー	387kcal/100g
ナトリウム	10.1mg/100g

◆クラチャイダム (กระชายดำ : Kra chai dum) とは

タイ・ラオスではおなじみのハーブの1種で、原生林のなかに自生しているショウガ科の植物です。タイの主要栽培地は、北東部のLoeiやPetchaboonで、北部のTaak、Lumpangでも栽培されています。日本では「黒ショウガ」と訳されますが、「黒ウコン」とも呼ばれているようです。タイでは、男性の精力増進、滋養強壮、お腹のはりを解消するハーブ薬として、よく知られています。根をスライスして乾燥し、お茶にしたり、生の根や乾燥させたものを、お酒に漬け込んだりと、タイの伝統的な薬として使用されています。

◆民間伝承薬として

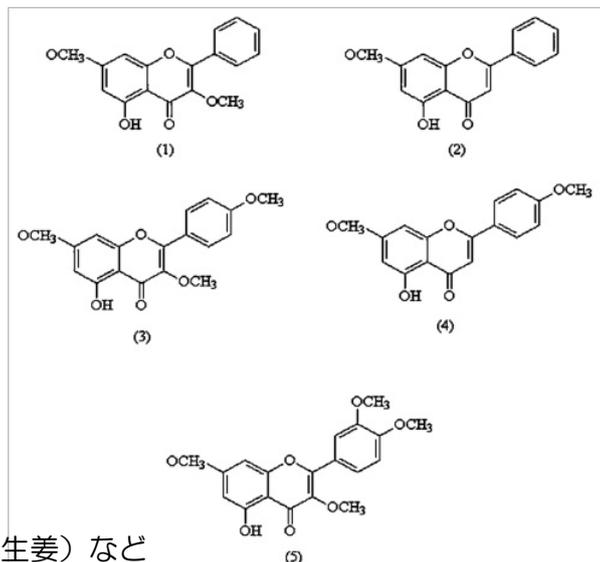
クラチャイダムは高い潜在的能力を持つ薬用植物です。長寿、精力増強、神経系を刺激する、血圧のバランスをとる、血液の循環を良くする、腹痛を抑えるなどの働きがあるとされています。女性では、女性のホルモンのバランスをとることを助け、特に、やせた女性には、蜂蜜とクラチャイダムで作った丸薬を毎日飲むことで、食欲増進、快眠、健康増進、月経の周期を整えるなどの効果が得られます。さらに、血管拡張作用があり、コレステロールを抑えるほか、糖尿病、高血圧症に効果があると言われ、メタボリックシンドローム対応素材としても注目されています。

◆クラチャイダムの有効成分

1. **フラボノイド (flavonoid)** が老化の原因となる活性酵素を抑える役目がある。
2. **シネオールなどの精油** (植物性揮発油) が体内の空気 (ガス) を排出する。
3. **carboxylic acid phanole** が血液の循環と血糖値を下げる。

◆クラチャイダムに含まれる活性フラボノイドの構造

- (1) 3,7-dimethoxy-5-hydroxyflavone
- (2) 5-hydroxy-7-methoxyflavone
- (3) 5-hydroxy-3,7,4-trimethoxyflavone
- (4) 7,4-dimethoxy-5-hydroxyflavone
- (5) 5-hydroxy-3,7,3,4-tetramethoxyflavone



◆性状

茶色～濃茶色の粉末

◆包装

10kg

◆摂取目安量

0.25～5g/Day

◆原料表示例

クラチャイダム、クラチャイダム (黒生姜) など